

## 平成30年度 産学接続コースの基本情報について

## 1 コースの分類

分 類 名	②実践教育併設コース
-------	------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

## 【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

## 2 学 科 概 要

専修学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	分 野 区 分	商業実務
課程名	専門課程	修 業 年 限	2 年
学科名	夜間部観光学科(テーマパーク科)	学 科 定 員 数	200 名
学科開設年月日	平成 14 年 4 月 1 日	学 科 実 員 数	142 名
コース設置年月日	平成 14 年 4 月 1 日	推 奨 年 度	平成 30 年度
当該学科の教育目標	エンターテインメント・パフォーマンスと豊かな表現力を養い、テーマパークのシーンで活躍する人材を養成		
就職を目指す職業	アトラクションキャスト・パピリオンキャスト・キャラクタースタッフ・パレードダンサー等		
当該学科に対する業界のニーズ	昼は企業で仕事、夜は学校で勉強。実践力と知識が身につく。		

## 3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成 29 年度実施内容

提携企業名 (業界名等)	株式会社ユー・エス・ジェイ、KCJ GROUP 株式会社等		
提携企業の 具体的ニーズ	・社会人としての基本的姿勢、動作の習得 ・即戦力となる知識、技術の修得		
コースの目標	日頃の授業と実習室を利用したトレーニングが実務現場で実体験をさせることにより実践的な知識を身につけさせ、即戦力を育成することを目標とする。		
企業等との提携内容や 実習内容 ※両者の役割分担や共同 作業の内容など	・研修前には学内で接客マナー等の事前研修を実施。研修開始後の一定期間は、1学年上の当校先輩より基本的な業務指導を受け通常業務が行えるように取り組む。 ・学生は当初数ヶ月間、主に雑用業務を経験するが、商品知識や実践力を養いピーク時期である夏の繁忙期には独り立ちできるような即戦力となり旅行・鉄道業界で働くための実践的なノウハウが修得できる。 ・1年間を通しこの制度を利用し優秀な評価を得た学生は、当該提携企業への就職枠が支配人や現場担当者から与えられるメリットは大きい。		
提携契約期間	平成 28 年 5 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日		
現場実習期間	平成 28 年 5 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日 11ヶ月間 × 1回 (1320時間相当)※推奨年度の実際の提携教育期間を記載		
コース受講生の募集 及び実習先の選定方法	入学前の事前説明会時に事前概要を説明。入学後、研修内容・勤務場所・待遇面等の説明。就職担当者が研修希望者と面談を実施後、企業に履歴書を提出、面接で決定する。		
履 修 認 定	履 修 認 定 時 間 / 総 授 業 時 間	賃 金 支 払	雇 用 契 約
	有・無	時間/時間	有・無
無 料 職 業 紹 介 届 出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
	有・無	有・無	その他費用負担
	インターシップ活動賠償責任保険	有・無	充足・非充足
評 価 学 校	「業務月誌」に毎月の出勤状況と業務内容の確認		
方 法 企 業	一定期間(約11ヶ月)の満了者には学校としての認定書に対して企業の承認を行う		
学 生 へ の 支 援 ・ 配 慮 事 項	学校:担任による学生へのケアと定期的な見回り訪問 企業:人事担当者への学生フォロー及び就職担当者への営業フォローによる状況確認		

※予定又は見込みの場合は( )書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

#### 4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)

**【対策】**

- ・就職に向けて学生自らの能力を発掘するためのキャリアプランニング授業と2年間3回の就職セミナー開催
- ・学生の適正にあった企業選択のための学内説明会の開催〔2016年度 86回〕
- ・採用、企業実習、夜間部企業研修先企業を招いての相互による情報交換交流会の開催〔年1回3月〕

**【効果】**

- ・就職セミナーに卒業生を招き、後輩に向けて情報発信することで、在校生の進路選択意識を高めると共に、登壇することで卒業生のモチベーションも高まる。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

#### 5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	33 名	46 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	30 名	31 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	30 名	31 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	19 名	10 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	11 名	21 名
f. 「b」のうち、進学者数	0 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等	KCJ GROUP 株式会社、株式会社ユー・エス・ジェイ等	

#### 6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 20 名(中退率 6 %)
b. 平成28年4月 1日在学者 316 名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成29年3月31日在学者 296 名(平成年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
経済的な理由、進路変更
ウ. 中退防止のための取組
・担任制度を実施のため、個別ケア及びカウンセラーを通じてのフォロー実施
・指定資格取得による学校独自の2年次奨学金制度実施

#### 7 学校関係者評価の実施・公表

- ・学校関係者評価結果の公表先 URL:

**■大阪発「産学接続コース」とは**  
 企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。  
 この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

**【イメージ】**



**○大阪発「産学接続コース」の要件**

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業者の早期離職防止のための対策を講じていること。

## 平成30年度 産学接続コースの基本情報について

## 1 コースの分類

分 類 名	②実践教育併設コース
-------	------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

## 【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

## 2 学 科 概 要

専修学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	分 野 区 分	商業実務
課程名	専門課程	修 業 年 限	2 年
学科名	夜間部観光学科(ホテル・英語コミュニケーション科)	学 科 定 員 数	200 名
学科開設年月日	平成 14 年 4 月 1 日	学 科 実 員 数	142 名
コース設置年月日	平成 14 年 4 月 1 日	推 奨 年 度	平成 30 年度
当該学科の教育目標	・洗練された接客ステージを提供するホテルマンの養成 ・世界をステージに活躍するために十分な語学力と国際感覚を身につけた人材を養成する		
就職を目指す職業	ホテル業(宿泊・料飲・宴会)等		
当該学科に対する業界のニーズ	昼は企業で仕事、夜は学校で勉強。実践力と知識が身につく。		

## 3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成 29 年度実施内容

提携企業名(業界名等)	株式会社ホテルグランヴィア大阪、株式会社阪急阪神ホテルズ(大阪新阪急ホテル等)、株式会社テルウィンコーポレーション(ウェスティンホテル大阪)等		
提携企業の具体的なニーズ	・社会人としての基本的姿勢、動作の習得 ・即戦力となる知識、技術の修得		
コースの目標	日頃の授業と実習室を利用したトレーニングが実務現場で実体験をさせることにより実践的な知識を身につけさせ、即戦力を育成することを目標とする。		
企業等との提携内容や実習内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	・研修前には学内で接客マナー等の事前研修を実施。研修開始後の一定期間は、1学年上の当校先輩より基本的な業務指導を受け通常業務が行えるように取り組む。 ・学生は当初数ヶ月間、主に雑用業務を経験するが、商品知識や実践力を養いピーク時期である夏の繁忙期には独り立ちできるような即戦力となり旅行・鉄道業界で働くための実践的なノウハウが修得できる。 ・1年間を通じこの制度を利用し優秀な評価を得た学生は、当該提携企業への就職枠が支配人や現場担当者から与えられるメリットは大きい。		
提携契約期間	平成 28 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日		
現場実習期間	平成 28 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日 11ヶ月間 × 1回 (1320時間相当)※推奨年度の実際の提携教育期間を記載		
コース受講生の募集及び実習先の選定方法	入学前の事前説明会時に事前概要を説明。入学後、研修内容・勤務場所・待遇面等の説明。就職担当者が研修希望者と面談を実施後、企業に履歴書を提出、面接で決定する。		
履修認定	履修認定時間 / 総授業時間	賃金支払	雇用契約
	有・無	時間/時間	有・無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
	有・無	有・無	充足・非充足
評価方法	学校	「業務月誌」に毎月の出勤状況と業務内容の確認	
	企業	一定期間(約11ヶ月)の満了者には学校としての認定書に対して企業の承認を行う	
学生への支援・配慮事項	学校: 担任による学生へのケアと定期的な見回り訪問 企業: 人事担当者への学生フォロー及び就職担当者への営業フォローによる状況確認		

※予定又は見込みの場合は( )書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。



#### 4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)

**【対策】**

- ・就職に向けて学生自らの能力を発掘するためのキャリアプランニング授業と2年間3回の就職セミナー開催
- ・学生の適正にあった企業選択のための学内説明会の開催〔2016年度 86回〕
- ・採用、企業実習、夜間部企業研修先企業を招いての相互による情報交換交流会の開催〔年1回3月〕

**【効果】**

- ・就職セミナーに卒業生を招き、後輩に向けて情報発信することで、在校生の進路選択意識を高めると共に、登壇することで卒業生のモチベーションも高まる。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

#### 5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	74 名	82 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	43 名	37 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	43 名	37 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	26 名	29 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	17 名	8 名
f. 「b」のうち、進学者数	0 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等	株式会社ホテルグランヴィア大阪、株式会社阪急阪神ホテルズ(大阪新阪急ホテル等)、株式会社テルウインコーポレーション(ウェスティンホテル大阪)、株式会社ロイヤルホテル、株式会社ホテルモントレ等	

#### 6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

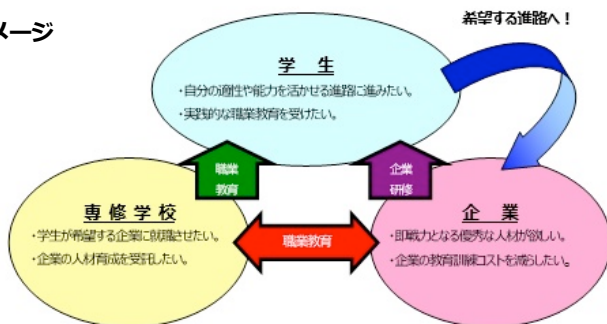
ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 20 名(中退率 6 %)
b. 平成28年4月 1日在学者 316 名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成29年3月31日在学者 296 名(平成年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
経済的な理由、進路変更
ウ. 中退防止のための取組
・担任制度を実施のため、個別ケア及びカウンセラーを通じてのフォロー実施
・指定資格取得による学校独自の2年次奨学金制度実施

#### 7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL:

**■大阪発「産学接続コース」とは**  
 企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。  
 この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

**【イメージ】**



**○大阪発「産学接続コース」の要件**

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業者の早期離職防止のための対策を講じていること。

## 平成30年度 産学接続コースの基本情報について

## 1 コースの分類

分 類 名	②実践教育併設コース
-------	------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

## 【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

## 2 学 科 概 要

専修学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	分 野 区 分	商業実務
課程名	専門課程	修 業 年 限	2 年
学科名	夜間部観光学科(旅行・鉄道サービス科)	学 科 定 員 数	200 名
学科開設年月日	平成 14 年 4 月 1 日	学 科 実 員 数	142 名
コース設置年月日	平成 14 年 4 月 1 日	推 奨 年 度	平成 30 年度
当該学科の教育目標	・旅行業に直結した技能・知識・経験を持つためのスペシャリスト養成 ・鉄道の現場で役立つ資格取得を目指し、知識とサービス能力を備えた駅・鉄道スタッフを養成		
就職を目指す職業	・添乗員、カウンターアドバイザー、ツアーコンダクター、ツアーオペレーター、セールススタッフ ・車掌、駅スタッフ、鉄道パーサー、バスアテンダント		
当該学科に対する業界のニーズ	昼は企業で仕事、夜は学校で勉強。実践力と知識が身につく。		

## 3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成 29 年度実施内容

提携企業名 (業界名等)	株式会社ジャッツ関西、ビジネスソリューションズ株式会社(旧:日旅ビジネスサポート株式会社)等		
提携企業の 具体的ニーズ	・社会人としての基本的姿勢、動作の習得 ・即戦力となる知識、技術の修得		
コースの目標	日頃の授業と実習室を利用したトレーニングが実務現場で実体験をさせることにより実践的な知識を身につけさせ、即戦力を育成することを目標とする。		
企業等との提携内容や 実習内容 ※両者の役割分担や共同 作業の内容など	・研修前には学内で接客マナー等の事前研修を実施。研修開始後の一定期間は、1学年上の当校先輩より基本的な業務指導を受け通常業務が行えるように取り組む。 ・学生は当初数ヶ月間、主に雑用業務を経験するが、商品知識や実践力を養いピーク時期である夏の繁忙期には独り立ちできるような即戦力となり旅行・鉄道業界で働くための実践的なノウハウが修得できる。 ・1年間を通しこの制度を利用し優秀な評価を得た学生は、当該提携企業への就職枠が支配人や現場担当者から与えられるメリットは大きい。		
提携契約期間	平成 28 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日		
現場実習期間	平成 28 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日 11ヶ月間 × 1回 (1320時間相当)※推奨年度の実際の提携教育期間を記載		
コース受講生の募集 及び実習先の選定方法	入学前の事前説明会時に事前概要を説明。入学後、研修内容・勤務場所・待遇面等の説明。就職担当者が研修希望者と面談を実施後、企業に履歴書を提出、面接で決定する。		
履修認定	履修認定時間 / 総授業時間	賃金支払	雇用契約
	有・無	時間 / 時間	有・無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
	有・無	有・無	有・無
評価方法	学校	「業務月誌」に毎月の出勤状況と業務内容の確認	
	企業	一定期間(約11ヶ月)の満了者には学校としての認定書に対して企業の承認を行う	
学生への支援・ 配慮事項	学校:担任による学生へのケアと定期的な見回り訪問 企業:人事担当者への学生フォロー及び就職担当者への営業フォローによる状況確認		

※予定又は見込みの場合は( )書きで記載すること。

#### 4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)

**【対策】**

- ・就職に向けて学生自らの能力を発掘するためのキャリアプランニング授業と2年間3回の就職セミナー開催
- ・学生の適正にあった企業選択のための学内説明会の開催〔2016年度 86回〕
- ・採用、企業実習、夜間部企業研修先企業を招いての相互による情報交換交流会の開催〔年1回3月〕

**【効果】**

- ・就職セミナーに卒業生を招き、後輩に向けて情報発信することで、在校生の進路選択意識を高めると共に、登壇することで卒業生のモチベーションも高まる。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

#### 5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	22 名	29 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	20 名	23 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	20 名	23 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	4 名	6 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	16 名	17 名
f. 「b」のうち、進学者数	0 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等	株式会社ジャッツ関西、ビジネスソリューションズ株式会社、株式会社日本旅行オーエムシートラベル、日旅サービス株式会社、株式会社南海国際旅行、株式会社日本旅行、株式会社ジェット観光等	

#### 6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

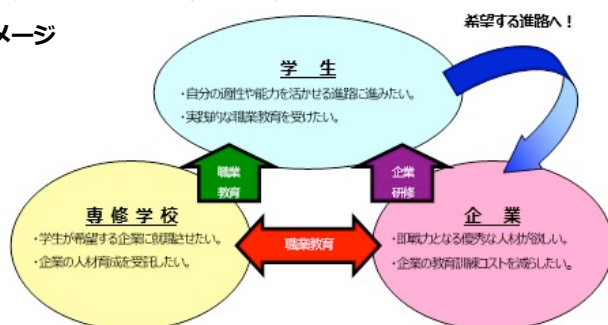
ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 20 名(中退率 6 %)
b. 平成28年4月 1日在学者 316 名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成29年3月31日在学者 296 名(平成29年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
経済的な理由、進路変更
ウ. 中退防止のための取組
・担任制度を実施のため、個別ケア及びカウンセラーを通じてのフォロー実施
・指定資格取得による学校独自の2年次奨学金制度実施

#### 7 学校関係者評価の実施・公表

- ・学校関係者評価結果の公表先 URL:

**■大阪発「産学接続コース」とは**  
 企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。  
 この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

**【イメージ】**



**○大阪発「産学接続コース」の要件**

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。



## 平成30年度 産学接続コースの基本情報について

## 1 コースの分類

分 類 名	②実践教育併設コース
-------	------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

## 【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

## 2 学 科 概 要

専修学校名	ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	分 野 区 分	商業実務
課程名	専門課程	修 業 年 限	2 年
学科名	夜間部観光学科(エアライン・エアポート科)	学 科 定 員 数	200 名
学科開設年月日	平成 14 年 4 月 1 日	学 科 実 員 数	142 名
コース設置年月日	平成 14 年 4 月 1 日	推 奨 年 度	平成 30 年度
当該学科の教育目標	・航空業界の就職試験に対応するためのスキルアップ指導により、憧れを実現できる人材を養成 ・ビジネススキルを身につけた技術系業務者を育成し、空港で働くエアビジネス&貿易のスペシャリストを目指す		
就職を目指す職業	・キャビンアテンダント、グランドスタッフ、センディング、グランドアテンダント ・マーシャラー、トーイング、グランドハンドリング、ケータリング、航空貨物代理業		
当該学科に対する業界のニーズ	昼は企業で仕事、夜は学校で勉強。実践力と知識が身につく。		

## 3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成 29 年度実施内容

提携企業名 (業界名等)	国際航空旅客サービス株式会社等		
提携企業の 具体的ニーズ	・社会人としての基本的姿勢、動作の習得 ・即戦力となる知識、技術の修得		
コースの目標	日頃の授業と実習室を利用したトレーニングが実務現場で実体験をさせることにより実践的な知識を身につけさせ、即戦力を育成することを目標とする。		
企業等との提携内容や 実習内容 ※両者の役割分担や共同 作業の内容など	・研修前には学内で接客マナー等の事前研修を実施。研修開始後の一定期間は、1学年上の当校先輩より基本的な業務指導を受け通常業務が行えるように取り組む。 ・学生は当初数ヶ月間、主に雑用業務を経験するが、商品知識や実践力を養いピーク時期である夏の繁忙期には独り立ちできるような即戦力となり旅行・鉄道業界で働くための実践的なノウハウが修得できる。 ・1年間を通しこの制度を利用し優秀な評価を得た学生は、当該提携企業への就職枠が支配人や現場担当者から与えられるメリットは大きい。		
提携契約期間	平成 28 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日		
現場実習期間	平成 28 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日 11ヶ月間 × 1回 (1320時間相当)※推奨年度の実際の提携教育期間を記載		
コース受講生の募集 及び実習先の選定方法	入学前の事前説明会時に事前概要を説明。入学後、研修内容・勤務場所・待遇面等の説明。就職担当者が研修希望者と面談を実施後、企業に履歴書を提出、面接で決定する。		
履修認定	履修認定時間 / 総授業時間	賃金支払	雇用契約
	有・無	時間 / 時間	有・無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
	有・無	有・無	有・無
評価方法	学校	「業務月誌」に毎月の出勤状況と業務内容の確認	
	企業	一定期間(約11ヶ月)の満了者には学校としての認定書に対して企業の承認を行う	
学生への支援・ 配慮事項	学校:担任による学生へのケアと定期的な見回り訪問 企業:人事担当者への学生フォロー及び就職担当者への営業フォローによる状況確認		

※予定又は見込みの場合は( )書きで記載すること。

#### 4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)

**【対策】**

- ・就職に向けて学生自らの能力を発掘するためのキャリアプランニング授業と2年間3回の就職セミナー開催
- ・学生の適正にあった企業選択のための学内説明会の開催〔2016年度 86回〕
- ・採用、企業実習、夜間部企業研修先企業を招いての相互による情報交換交流会の開催〔年1回3月〕

**【効果】**

- ・就職セミナーに卒業生を招き、後輩に向けて情報発信することで、在校生の進路選択意識を高めると共に、登壇することで卒業生のモチベーションも高まる。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

#### 5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	13 名	9 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	2 名	3 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	2 名	3 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	1 名	1 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	1 名	2 名
f. 「b」のうち、進学者数	0 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等	国際航空旅客サービス株式会社、ANA関西空港株式会社、株式会社Kグランドエキスパート、日本トラフィックサービス株式会社等	

#### 6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 20 名(中退率 6 %)
b. 平成28年4月 1日在学者 316 名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成29年3月31日在学者 296 名(平成年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
経済的な理由、進路変更
ウ. 中退防止のための取組
・担任制度を実施のため、個別ケア及びカウンセラーを通じてのフォロー実施
・指定資格取得による学校独自の2年次奨学金制度実施

#### 7 学校関係者評価の実施・公表

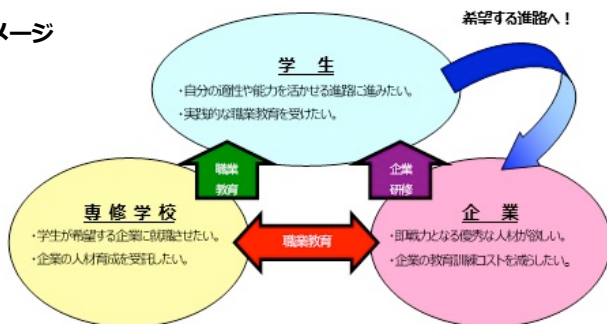
- ・学校関係者評価結果の公表先 URL:

**■大阪発「産学接続コース」とは**

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

**【イメージ】**



**○大阪発「産学接続コース」の要件**

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業者の早期離職防止のための対策を講じていること。